

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県西宮市 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	民間企業出身 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド訓方	救 臨地 輪
人口 (人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	看護配置	
484,357	19,375	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

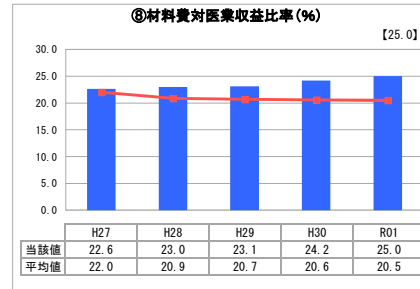
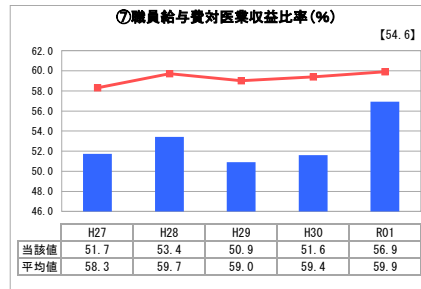
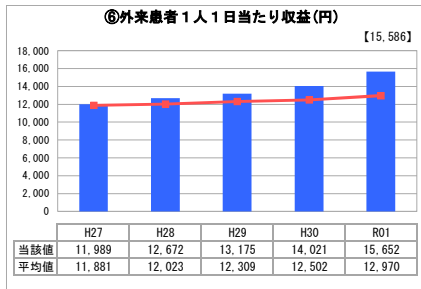
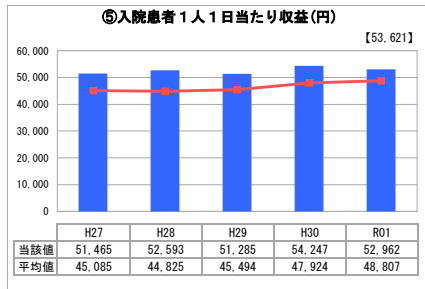
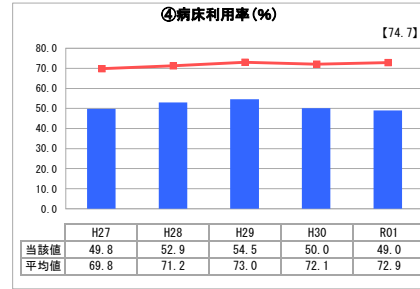
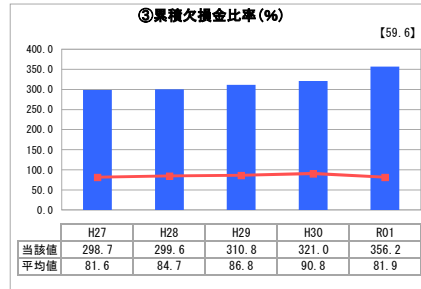
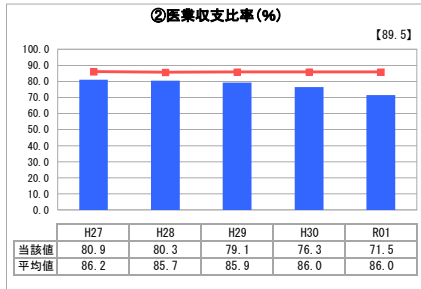
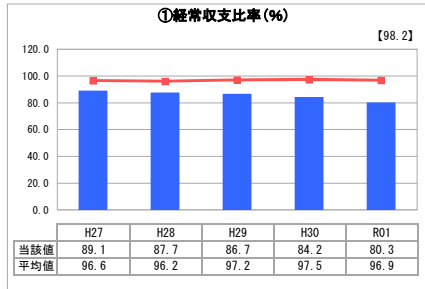
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
257	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	257
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
193	-	193

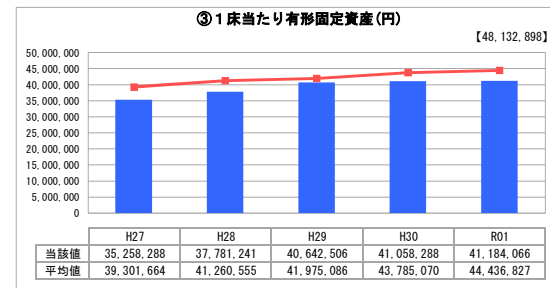
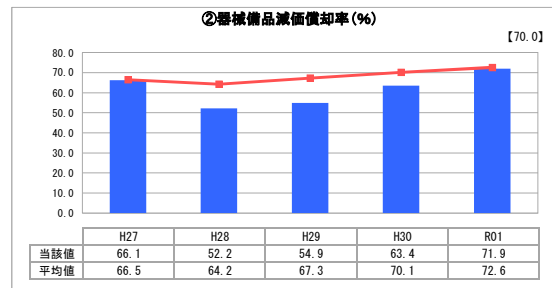
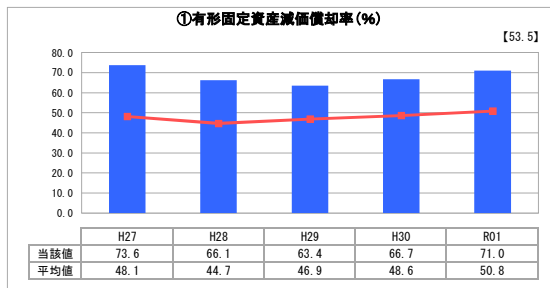
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- がん医療を始めとする高度な医療を提供する地域の中核病院としての役割を果たしている。
- 小児救急を含む2次救急を中心に病院群輪審制下の、民間医療機関などとの協働により市内の救急医療の一翼を担っている。
- 地域の医療機関などとの連携を強化し、地域完結型医療の構築に向けて、中心的役割を果たしている。なお、令和元年6月に兵庫県知事より「地域医療支援病院」の承認を受けた。
- 大規模災害時においても継続して医療の提供ができるよう、院内の体制の整備を図るとともに、他の医療機関や関係団体との連携強化に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院では、より安全で質の高い医療を提供するために、医療スタッフの確保や充実、医療機器の整備を図ってきた。特に平成27～30年度にかけて、高度医療機器の更新や購入を行った結果、病床利用率が增加し、収益は入院・外来ともに増加傾向であったが、平成30年度下半期以降、入院収益・病床利用率が落ち込んだ。また、医療機器の更新や施設改修などを短期間で行った結果、多額の減価償却費が発生したため、経常収支比率及び医業収支比率の改善には至っていない。一方で、高額な抗がん剤の活用や、一般的に材料費が高いといわれる循環器系疾患の診療強化を図ったことにより、材料費の医業収益に占める割合も増加傾向にある。

2. 老朽化の状況について

当院は建築後40年以上が経過しており、建物は老朽化している。そのため、平成28～30年度にかけて耐震化工事や外来エントランス改修工事、病棟改修工事を行った結果、有形固定資産減価償却率は減少傾向にあった。しかし今後は統合新病院の開院を控える中、現病院については建物機能の維持・補修を中心に行うこととなるため、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率はともに増加していくと考えられる。

全体総括

当院は、県立西宮病院との統合新病院が開院する令和7年度に閉院する。この間、平成27年に「経営改革プラン」を策定し、「医療サービスの向上」と「経営の健全化」を図るため、各種の取組を進めてきた。また令和2年には閉院を踏まえ、経営改革プランの見直し、閉院までの間は、現状の水準を引き下げることなく医療サービスを提供し、現在担っている役割を果たしていく必要があり、そのためには経営改善が不可欠と考えている。そのような中、新型コロナウイルス感染症の影響により収益を上げることが困難であるが、統合新病院の開院までの間、市民の命と健康を守る役割を果たしていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。